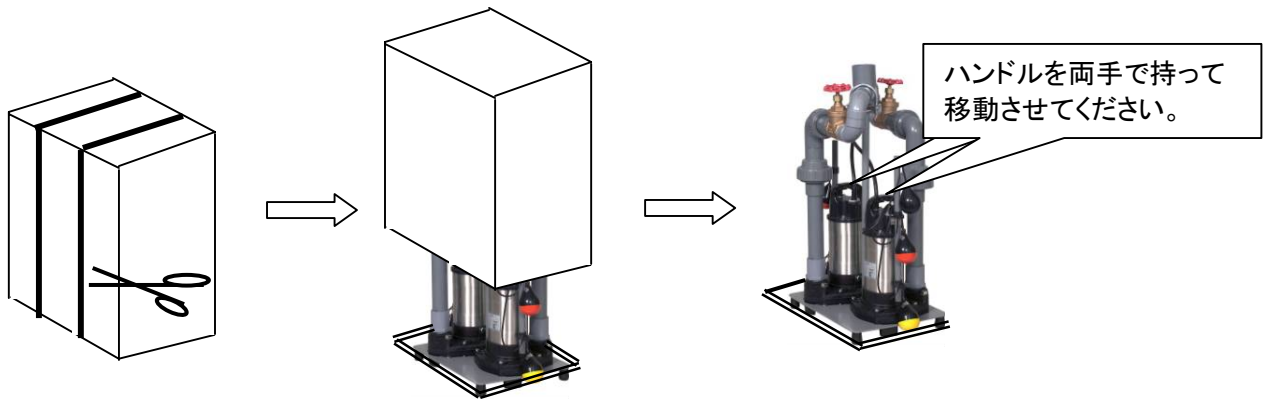


排水水中ポンプユニット 施工要領書 (U-PVT/U-PLT型 シリーズ)

1. 梱包からの取り出し

- ① 箱を結束しているPPバンドをハサミで切ります。
- ② 被せているダンボールを上方に持ち上げて取り除きます。
- ③ 2台の水中ポンプのハンドルを両手で持って、梱包の台座よりユニット全体を取り出します。
(注) 製品を持ち上げる際、配管を持って取り出さないでください。



2. 吊りロープの取り付け

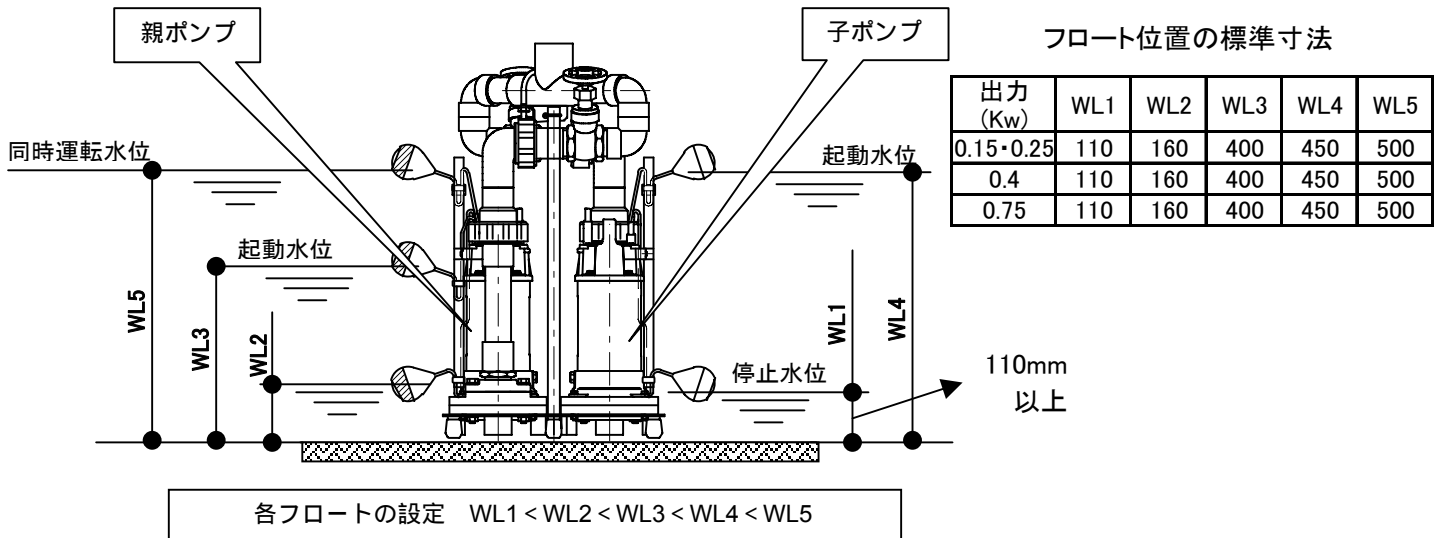
- ① 付属している吊りロープ(PP製6φ×2m-2本)を各々の水中ポンプのハンドルに輪状に取り付けます。
- ② 輪の先端部は、スリースバルブのハンドルに引っ掛けておきます。

3. フロートの水位設定 (自動運転型水中ポンプの場合)

工場出荷時、水中ポンプのフロートの運転水位は、右下の寸法表に示す位置で設定しております。

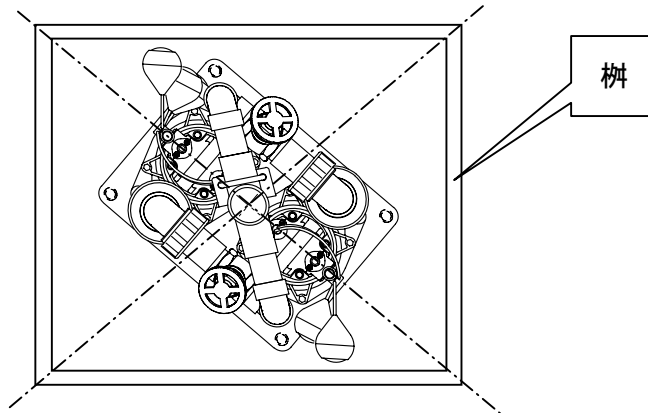
現場で変更される場合は、2個のフロートが付いている側の水中ポンプ(子ポンプ)の停止フロート(黒色と黄色のツートン)の作動水位を柵の底面より110mm以上になる様にしてください。

3個のフロートが付いている水中ポンプ(親ポンプ)の停止フロートは、子ポンプの停止フロートより50mm以上、上に、その他のフロートは、親ポンプと子ポンプの作動水位差が50mm以上になる様、設定してください。



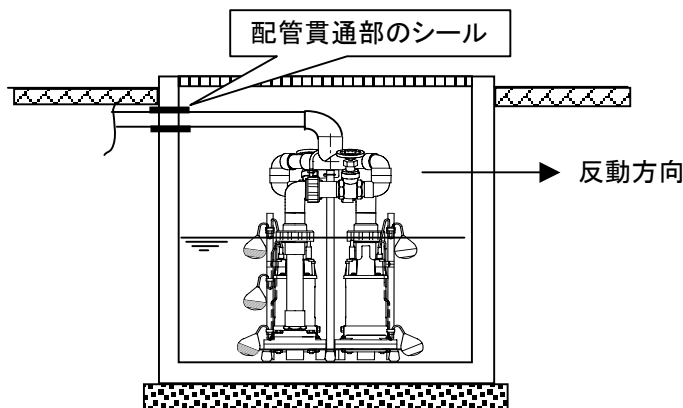
4. 柵への設置

- ① 吊りロープで製品を持ち上げ、柵の中に下ろします。
- ② 製品の向きは、水中ポンプのフロートが柵の対角方向、且つ、柵の中心位置に水中ポンプユニットの吐出口となるような位置に設置してください。(下図参照)
- ③ スリースバルブが全開になっていることを確認ください。



5. 排水配管の接続

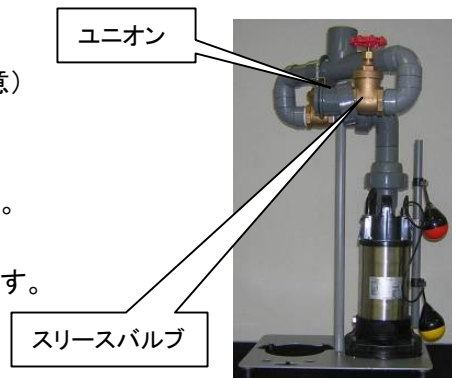
下図のような横方向に吐き出す配管となる場合は、水中ポンプが起動する際に若干の反動が発生するため、柵の壁貫通部のシールが剥離するようなことが生じないよう、配管の固定やシールを強固にするなどの処置を講じるようにしてください。



6. 水中ポンプ及びチャッキバルブの取り外し

配管ユニットのユニオンを緩めて、吐出配管と切り離すことで、水中ポンプ及びチャッキバルブを槽外に取り出すことができます。

- ① 点検したい水中ポンプ側のスリースバルブを全閉にします。
- ② ユニオンを緩めて吐出配管と切り離します。(Oリングの脱落に注意)
- ③ 吊りロープで水中ポンプを引き上げます。
(以下は組みつけの手順です)
- ④ 水中ポンプの脚部がベース切り欠き穴に嵌りこむ位置にセットします。
(嵌りこめば、ユニオンと連結することができます。)
- ⑤ ユニオンの嵌り部のOリングを清掃後、ユニオンナットを締め付けます。
- ⑥ スリースバルブを全開にします。



ポンプ本体に関することは、取扱説明書を参照ください。

TERAL

テラル株式会社

本社 福山市御幸町森脇230 〒720-0003 Tel.084-955-1111 Fax.084-955-57
東京支社 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル6F 〒112-0004
www.teral.net

TP-541-00